

7月 10日（木）のこんだて

ごはん はもの^{てん}天ぷら

なべしぎ すまし汁^{じる} ぎゅうにゅう

ひとくち
一口メモ

きょうの給食^{きゅうしょく}は、はもの^{てん}天ぷらです。海^{うみ}に面^{めん}していない京都^{きょうと}では、昔^{むかし}から新鮮^{しんせん}な魚^{さかな}を食べ^たることはとてもむずかしいことでした。京都^{きょうと}まで運^{はこ}んでいる間^{あいだ}に魚^{さかな}が死^しんでしまうからです。ところが、はもは強^{つよ}い魚^{さかな}で、海^{うみ}でとれたものを暑^{あつ}い中^{なか}運^{はこ}んできてもだいじょうぶでした。それに、はもは味^{あじ}もよいので、おもてなし料理^{りょうり}にはかかせないものとなりました。7月^{がつ}1日^{ついたち}からの1ヶ月^{かげつ}は、祇園祭^{ぎおんまつり}です。祇園祭^{ぎおんまつり}では、このはもをごちそうとしてよく食^たべるので、はも祭^{まつり}とも言^いわれています。

（クラス配布用 一口メモより）

